

Pancreatitis Bundle チェックシート

Pancreatitis Bundle チェックシート

急性膵炎では以下の対応を行うことが望ましい

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ①急性膵炎診断時，②診断から 24 時間以内，および，③24～48 時間の各々の時間帯で，厚生労働省重症度判定基準を用いて重症度を繰り返し評価する。 <input type="checkbox"/> 重症急性膵炎では，診断後 3 時間以内に，適切な施設への搬送を検討する。 <input type="checkbox"/> 急性膵炎では，診断後 3 時間以内に，病歴，血液検査，画像検査などを用いて，膵炎の成因を鑑別する。 <input type="checkbox"/> 胆石性膵炎のうち，胆管炎合併例，黄疸の出現または増悪などの胆道通過障害の遷延を疑う症例には，早期の ERCP+ES の施行を検討する。 <input type="checkbox"/> 重症急性膵炎の治療を行う施設では，造影可能な重症膵炎症例では，初療後 3 時間以内に，造影 CT を行い，膵不染域や病変の広がり等を検討し，造影 CT Grade による重症度判定を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 急性膵炎では発症後 48 時間以内は，十分な輸液とモニタリングを行い，平均血圧：拡張期血圧＋(収縮期血圧－拡張期血圧)/3：65 mmHg 以上，尿量 0.5 mL/kg/h 以上を維持する。 <input type="checkbox"/> 急性膵炎では疼痛のコントロールを行う。 <input type="checkbox"/> 重症急性膵炎では 24 時間以内に広域スペクトラムの抗菌薬を予防的に投与する。 <input type="checkbox"/> 重症急性膵炎では，重症膵炎と診断後可及的速やかに(2 日以内に)公費負担の申請書類を患者の代諾者に渡す。 <input type="checkbox"/> 胆石性膵炎で胆嚢結石を有する場合には，膵炎沈静化後，胆嚢摘出術を行う。 |
|---|--|